

発泡スチロールを使ったミニ立体凧の製作

富山県総合教育センター科学情報部

1. ねらい

風で動く物をつくり、風を当てたときの物の動く様子を比較しながら、風の強さによって物の動く様子に違いがあることを調べ、風の力は物を動かすことができることをとらえるようにする。

2. 発泡スチロールを使ったミニ立体凧の作り方

この凧は、発泡スチロールを薄くスライスしたシートが材料である。短時間で簡単に作ることができ、室内でも歩く程度の速さで安定して飛ばす事ができる。

(1) 材料

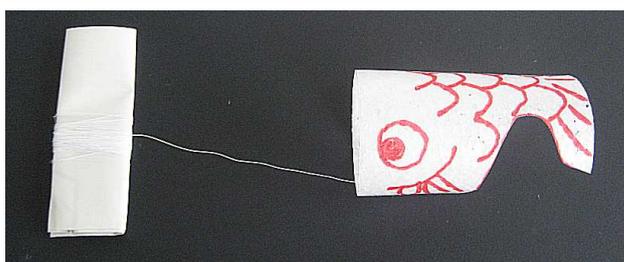
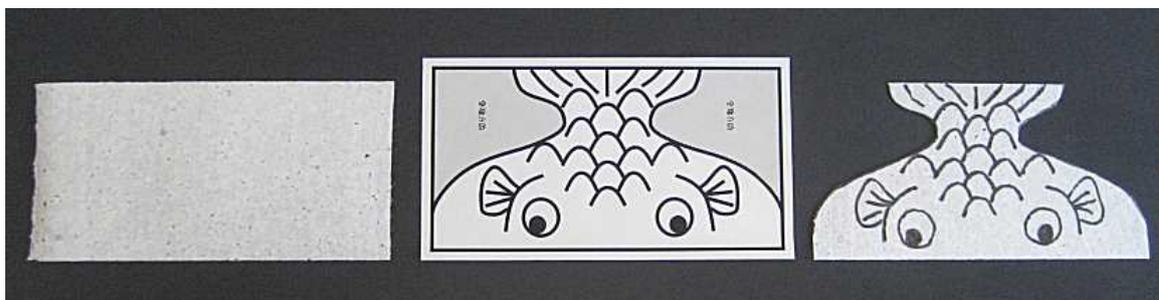
- ・発泡スチロールを厚さ0.8mmにスライスしたシート 1枚 (10cm×20cm×0.8mm)
※発泡スチロールスライサーについては、富山県総合教育センターデジタル理科室を参照
- ・はさみ ・セロハンテープ ・油性(水性)ペン ・型紙 ・ペットボトル(500mL)
- ・糸 5m程度 (裁縫用の糸でよい) ・糸巻き (A4コピー用紙1枚)

(2) 工作手順

- ・A4コピー用紙を折り糸巻きを作ります。糸をセロハンテープでとめ巻き付ける。



- ・発泡スチロールシートを型紙の上に置くと透けるので、絵を写し取る(任意)。
- ・はさみで魚の形に切り取り、丸めて端を1cm程度重ね、セロハンテープでとめる。
- ・尾びれを下向きに曲げ、口に糸を付けて完成。
- ・保管は底を切ったペットボトル(500mL)に入れるとよい。



(参考)

愛媛県総合科学博物館 友の会事務局 (科学クラブ) HP

<https://www.i-kahaku.jp/friend/kagaku/topics20110314/minitako.html>

(型紙)

※この型紙は、完成品がペットボトルに収まるように縦が19cmになっています。

